

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

352

畜産振興事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	3	豊かな産地の育成

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	畜産業費		
	大事業	畜産振興事業		
	中事業	畜産振興事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 清瀧 篤樹 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	畜産経営の安定を図る		畜産経営の安定を図るための指導、育成			
事業内容		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
		「公益社団法人畜産協会わかやま」との連携による畜産農家の経営指導等により、国の補助事業に参加する農家の書類審査等	「公益社団法人畜産協会わかやま」との連携による畜産農家の経営指導等により、国の補助事業に参加する農家の書類審査等	「公益社団法人畜産協会わかやま」との連携による畜産農家の経営指導等により、国の補助事業に参加する農家の書類審査等	「公益社団法人畜産協会わかやま」との連携による畜産農家の経営指導等により、国の補助事業に参加する農家の書類審査等	「公益社団法人畜産協会わかやま」との連携による畜産農家の経営指導等により、国の補助事業に参加する農家の書類審査等

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	287	152	151	131	109	105	119	0	119	0
伸び率(%)	139.2%	29.9%	△47.4%	△13.8%	△27.8%	△19.8%	9.2%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	1,915	3,669	2,318	3,677	4,350	4,511	4,269	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	1,915	3,669	2,318	3,677	4,350	4,511	4,269	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	45	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	20	20	20	7	20	20	20	0	0	0
一般財源(税等)	222	132	131	124	89	85	99	0	119	0
所要人数(人)	正規職員	0.24	0.46	0.29	0.46	0.54	0.56	0.53	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	負担金、補助及び交付金 54千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	肉用牛肥育経営安定対策事業参加率(事業参加農家軒数/肉用牛肥育経営農家軒数)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
活動指標	子牛生産者補給金事業参加率(事業参加農家軒数/子牛繁殖経営農家軒数)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	肉用牛肥育経営安定対策事業参加率(肉用牛肥育経営農家軒数/事業参加農家軒数)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	子牛生産者補給金事業参加率(事業参加農家軒数/子牛繁殖経営農家軒数)	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	家畜の販売価格の低下や死亡等は、畜産農家の経営に大きなダメージを与えるため、経営安定のための施策を活用することの重要性は大きい。
見直し・改善内容	継続して畜産農家の経営安定対策に取り組み、現状の数値を維持していく。